

【目次】

1. テーブルメンバー
2. 議論の流れ
3. 順位・選定理由
4. まとめ

1. テーブルメンバー

渡邊（青学2）萩原（フェリス3）内山（成蹊3）中野（立教2）
若原（東洋3）石井（獨協3）鈴木（フェリス2）大沼（フェリス3）

2. 議論の流れ

<OP>

渡邊、萩原、内山、若原、石井、大沼がオピニオンプレゼンター（以下 OP）に立候補し、大沼が OP に選ばれた。内容・マンドート共に通常のものであった。

<ASQ>

萩原による narrow TG の提案がなされたものの、取り入れられなかった。全員が積極的に発言するテーブルであったため Q が多く出たものの目立った滞りなどはなく進んでいった。

<NFC>

渡邊、鈴木、若原がアーギの提示をした。話す順番、コンバインできるかどうか等の方法論に関する議論がなされたものの、石井のコンバインは不可能という発言、渡邊の検証する方が良いという発言により、順番に検証をするに至った。

渡邊は現状に体罰が存在しており、体罰がなければ教育の目的が果たされないというもので、大沼により OP と渡邊の意見の相違点及び渡邊が話すべきエリアが提案され、DA での意見提示と結論付けられた。

次の鈴木は体罰は痛みを生徒に教えられるため必要であるという意見であり、これは萩原の OP との相違点、鈴木の見証責任及び話されるべきエリアの提示により Worka での意見提示と結論付けられた。

最後に若原は現状体罰の数は減少しており、Mandate の導入なくとも現状で十分であるという意見であったが OP の見解によっては worka で再度提示すると述べていた。その発言により渡邊、萩原、石井中心による意見の理解が行われた。そして大沼の若原が room を認めるなら worka で話すのが得策という発言により worka での意見提示と結論付けられた。

—worka までは特筆すべき点はなく、滞りなく進んだため省略—

<Worka>

中野、渡邊が意見の提示をした。

まず中野は生徒や第三者が教育委員会に申告するのを躊躇するため体罰減少はできないという意見であった。これは萩原の提案により DA での意見提示と結論付けられる。

次に若原が OP に対し現状より体罰が確実に減少することをどう証明するのかという質問により Mandate の効果・目的等の議論がなされる。OP を始め渡邊、石井などによる説明、確認によりその議論は一旦終結する。

そして渡邊の意見に移り（ここでは若原が渡邊に譲ったことにより渡邊の意見が先に話されることになったが、ジャッジ視点で言うと若原の意見を先に話すべきだったと感じた。）、教育委員会が体罰の事実を隠した場合、現状との違いは明確ではないという意見であった。しかしこの時点で終了時刻 5 分前であり、アイデアを理解するための質疑等が行われたが、検証することなく議論は終了を迎えた。

3. 順位・選定理由

1 位 萩原（フェリス 3）

議論の推進に最も貢献していたこと、積極的な介入の姿勢を評価し 1 位にしました。オピメとアーギュメンターの間で中立で必要な存在だったと感じました。S も論点を的確に捉えたものだったと思います。アーギュに対する介入がほとんどだったので、それ以外のエリアでの介入ももっと増えたら伸びていくと思います。1 位おめでとうございます😊

2 位 渡邊（青学 2）

アイデアによる論点の提示、積極的な介入を評価しました。アイデアがすぐに流されてしまったのと、カンファメ等介入がテーブルに落ちていなかった点が惜しかったです。S らしき発言もしていて内容は間違っていなかったのに行程が足りなかったのも惜しいと感じました。頑張ればもっと上を目指せると思うので期待しています。応援してます😊

3 位 石井（獨協 3）

先発的な介入と議論を積極的に進めようとする姿勢が見られたため評価しました。アイデアに最初に介入し、S を打つ姿勢はとても良かったのですが、アイデアを出した人の意図を汲み取り、テーブルのニーズに合わせる力が少し足りなかったためこの順位となりました。テーブルに何が必要で、話を終わらせるためにどのような手順を踏めばいいかを考えることで精度も上がり結果に繋がっていくと思います。アッセンで期待しています。

4 位 若原（東洋3）

アイデアの提示、前半の意欲的な介入を評価しました。一度出したアイデアを下げてしまったこと、後半他人への介入があまり見られなかったこと、最後に自分のアイデアを先に話すべきところで譲ってしまった点がとても惜しかったです。もう少しテーブルの為の自分の意見の必要性や、影響を提示できればもっと良かったのではないかと思います。ガッツはあると思うので、アッセンでリベンジしてください。

5 位 中野（立教2）

アイデアの提示を主に評価しました。自分の意見をしっかり持ち、テーブルに積極的に提示する姿勢が見られました。しかしあまり浸透していなかったと感じました。チャートや言葉の使い方をもう少し考えてみるといいと思います。これからも頑張ってください！

6 位 大沼（フェリス3）

オピメとして議論の土台を作った点を主に評価しました。優しい性格がディスから分かるほど雰囲気が素晴らしいと感じました。アーギュメンターに対する介入、議論を進めようとする積極性が少し足りないかなと思いました。オピメとして進捗と深度を意識して他人のアイデアに対する提案をもっと意欲的に行えばもっと良くなるのではないかと思います。アッセンでリベンジ期待してます♥

7 位 鈴木（フェリス2）

アイデアの提示を主に評価しました。他の三年生が多く介入している中、自分の意見を提示できるのは良いと思います。しかしすぐに相手の提案を受け入れてしまった点と、他人の話への介入が足りなかったと思います。アイデアを固めて、介入量が増えたらもっと良くなると思うので、これからも頑張ってください😊

8 位 内山（成蹊3）

介入量があまり見られなかったためこの順位となりました。発言はしていたのですが、口で言っていただけのものが多く、あまり浸透していなかったように感じました。いつも積極的に発言しているイメージがあった分、もったいないなと思いました。アッセンでは頑張ってください！

4. まとめ

皆さんお疲れさまでした！ジャッジである私個人の目線で評価をしているため、テーブルの内容等意見理解に相違があるかもしれませんがご了承ください。このテーブル

は女子8人ということもあり、他のテーブルより穏やかかつ丁寧に議論が行われたのではないかと思います。それは女子の良いところでもあり、みんなそれぞれの優しい性格も表れていたからだと感じました。結果を出すためには、もう少しガツガツしてもいいかなと思います！それぞれ思うところはあると思いますが、アッセンでは悔いなく終われるよう応援してます😊